

マクロ経済学

担当教員： 原田 裕治

履修年次・区分： 2年（専門－基幹【必修】）

授業のテーマ： この講義では、経済全体の動きを理解するための枠組み（理論）について学習する。マクロ経済理論を修得すれば、日本の景気動向にかんする日々のニュースを理解できたり、政府が打ち出す経済政策の意味を考えたり、日米の為替レートの変動について解説できたりするようになるだろう。

授業では、マクロ経済学の基礎的な概念を少しずつ説明していくが、理論の解説にとどまらず、問題演習を通じて理解を深めてもらう。また理論に関連するデータ等を参照しながら、現実経済の理解も深めてもらう。

この日の授業内容： 開放マクロ経済学（1） 為替相場と国際収支



授業の始めに問題演習とその解説がありました。IS-LM分析を用いると、経済政策の有効性をごくシンプルな計算式で考えることができます。



日本は資源の乏しい島国で、外国から原材料を買って作った製品を外国に売って生きてきました。しかし、輸出入への依存度は他国と比べて突出している訳ではなく、国内の活動も重要であることが分かります。

(2015年7月取材)